



こんにちは

白子の議会

です

第92号

平成21年5月1日

編集発行
白子町議会
☎ 0475(33)2111



秋の収穫が楽しみ

第1回定例会

平成21年第1回定例会が3月6日から3月12日まで開催されました。
一般質問は1名の議員が町政を質しました。

一般質問	2ページ
平成21年度予算質疑応答について	3ページ
賛成・反対討論	4～5ページ
農業委員改選・議員表彰	6ページ

一般質問

町政をきく

今回の一般質問は1名が登壇し、公共交通問題、介護、福祉、などについて質しました。

地域公共交通の実施を

市川隆子議員

議員 道路運送法の一部改正により、「コミュニティバス」や「乗り合いタクシー」などの普及が可能となりました。

交通手段を持たない高齢者は、買い物や病院通いにも不自由しています。国も一定の補助をする制度なので、こうした制度を活用して公共交通実現にむけての協議会を早急に立ち上げるべきと考えますが見解を伺います。

早々に議論したい

町長 公共交通を希望する住民が多くいることは承知しています。買い物難民という言葉も使われていますが、自分の足で買い物に行けない人も増えていることもあり、早々に議論をし協議会立ち上げの方向を検討します。



運行中の市民バス

町の事業 零細業者も参加できる仕組みを

議員 長引く不況で厳しい状況のもと、町内の零細業者にも公共工事を発注する制度として、小規模公共工事の登録制度を立ち上げる自治体が増えています。

町でも、条件を最小限にしてこの制度の立ち上げを検討する考えがないか伺います。

新たな制度は

考えない

町長 この制度は、入札参加資格の申請を行っていない者を対象とした登録制度で、同様のことをシルバー人材センターにお願いしているのと同じような趣旨の対応はしていると思っています。

介護保険 要介護認定の新方式は

議員 四月実施予定の要介護認定の新方式に伴い、利用者から聞き取り調査をする際の判断基準が大きく変えられました。要介護認定は、介護サービスを利用するためにも必要なものですが、具体的にはどのように変わるのか伺います。

大きな差はない

町長 新方式では、介護度が軽めに判定されるといふ疑念を持たれている

ようですが、全国のモデル事業の結果報告でも、余り大きな差はなかったと思っています。

今後は、新しい認定ソフトの運用に関しても、広域や構成市町村と情報交換を行いながら進めていきたいと思っています。

低所得者への減免を

議員 介護保険は、利用しなければならぬ時、誰もが利用できるようにし、保険料の減免制度も特別な事情の項目を追加するなど、工夫して取り組むべきと考えますが、見解を伺います。

保険料減免 考えていない

町長 相互扶助の精神に反すると思うので保険料の減免は考えていません。利用料は、高額の払い戻しがあり負担も軽くなる制度になっています。

平成21年度予算 質疑・応答

【三橋昌好議員】

議員 町長は常ひごろ白子に若いカップルを増やしたいと言う。

出産育児一時金のアップを図り人口増につながるような考えはないか伺います。

町長 妙案というものがいちがいにあるものではありません。

例えば、他の地域で三十万円という一時金を出すところが郡内にありますが、必ずしも良い結果が表れてません。

実際に母親となるような人たちから要望の多いものを助成の中に取り入れ今年度予算を組みました。さらに研究をしていきます。



【斎藤鉄也議員】

議員 我が町の自主財源である税収予想を伺います。

総務課長 歳入の関係で

比較しますと住民税では二十年度が五億七千二百九十七万二千元、二十一年度が見込みで五億六千五百一十一万二千元、二%の減です。固定資産税は二十年度が六億四千五百九十九万九千元、二十一年度が見込みで六億九百万六千円の五%の減、町税の合計は二十年度が十三億二千二百七十七万円で二十一年度が十二億五千六百六十三万円の見込みの五%減となります。

【河野 豊議員】

議員 保育所運営負担について、年長組の無料化に対し年中組との町の負担金が両方で幾らなのか伺います。

町長 去年五歳児の無料化を給食費のみにしました。今年も一年下げて四歳もということでありませんが、所得によって保育料が計算されます。

所得が下がれば全体の保育料も下がっていることで町の負担が結果的におむねの試算ですが保育

料の影響額は二十年度と二十一年度で一千万を見込んでいます。

【北田頼光議員】

議員 今年は選挙の年、未成年者による社会参加は何事も体験ということでの投、開票所などでの使用の考えはないか伺います。

町長 今、そういう流れは一つあります。しかし法の壁があり選挙に関しては自治法また公職選挙法などで、二十歳以下の者が立ち会いや選挙運動も含めて禁止されています。

【板倉正道議員】

議員 後期高齢者事業では人間ドックへの助成は実施していませんが、町独自に行う考えはないのか？

町長 白子町は独自に人間ドック助成金とし十名分の予算化をしてあります。



議員 次世代育成支援地域行動計画の調査策定の委託はどの様に進めているか？

町長 平成二十年度に調査費を計上し、平成二十一年度に計画書の策定を行います。

【大多和正之議員】

議員 道路専用の価格改定をして税収アップにつながる考えはないか伺います。

町長 これは多少町村によって違います。地価と土地の単価と相応に比例すると言う事もひとつの基準となっておりますので、町とすれば余計にもらいたいのですが、早速改定と言うわけにはいかないという事でありませ



【酒井良信議員】

議員 道の駅調査検討委員会が設立されました。林町政五期に挑戦すると思いますが検討委員会から、建設委員会に向けて強い意思があるかどうかお聞きいたします。

町長 必要性は認められており、立地の問題などあり専門的な調査も煮詰まれば、検討委員会から準備委員会への流れになると思われます。期待に沿えればと考えています。

【今関勝巳議員】

議員 古所排水機場整備工事費の内容について伺います。

建設課長 百五十ミリの水中ポンプを二百ミリに置きかえる工事費を計上させていただきました。



平成21年度予算 に対する討論

一般会計

【反対討論】

市川隆子議員

百年に一度と言われるアメリカ発の大不況、まさに新年度は住民にとつても厳しい年になることが予想されます。このような中ですが、新年度は減額され続けてきた地方交付税が九千万円の増額となります。町では、病児保育を初めとした独自の子育て支援、妊婦健診十四回までの拡大、救急医療体制の充実など町民要望に沿った改善策も提案されており、評価できる点は多いと思います。しかし、国や県の施策が住民の暮らしを圧迫している中で、医療を初めとして本来、国が責任を果たさなければならぬ分野での住民負担はひどいままです。医師会も反対している国の医療費抑制政策に反対することや、農業分野などあらゆる分野での規制緩和、市場原理主義という構造改革が町政や住民の暮らしに重

国民健康保険
特別会計

【反対討論】

市川隆子議員

くのしかかっている点は強く認識する必要があると思います。今、町は住民の暮らしを守るという本来の役割の中で、国や県に現場の声を上げ独自にも暮らしを守る防波堤になることが求められています。このことを強く要望し反対討論といたします。

【賛成討論】

今関勝巳議員

予算総額三十七億円の新年度予算は、厳しい財政状況の中において健全財政の執行が求められております。歳入面をみると百年に一度といわれる世界経済に突入し厳しい予算編成であると思われまます。一方歳出面では、多様化する住民ニーズに対し第四次総合計画のもとに沿った歳出予算である。このような状況下で、平成二十一年度一般会計歳入・歳出予算は、健全財政に配慮しつつ中長期を見据えた予算であると評価し賛成するものです。

平成二十年度は、大幅な税率アップがありまして。一般会計からの法定外繰入もありましたが、住民の増税感には強くなっています。町の国民健康保険加入者の多くが所得二百万円以下の世帯です。国保・介護・後期高齢者も収入が増えない中で負担が増えていく。これらは憲法二十五条の最低限度の生活を営む権利にも反しています。しかも払えない世帯にはペナルティとして短期保険証や資格証明書が発行されます。国保財政を健全に維持するためには、国庫負担をもとに戻すしかありません。国は国庫負担を削り、苦しくなった自治体を財政健全化法でさらに縛る。これは住民実態を見ないやり方だと言わざるを得ません。町民の暮らしが厳しくなる中、憲法や国民健康保険法の理念に沿

い、町民の支払能力に応じた国保税の引下げや減免の制度を整備することを目指す。

【賛成討論】

三橋吉辰議員

国民健康保険制度は、国民皆保険を支える医療保険制度として重要な役割を担い、地域医療の確立と住民の健康保持、推進に大きく貢献しているところ。一方、医療費保険制度を取り巻く事情は少子高齢化疾病行動の変化医療施設整備等により医療費は年々増加し、さらに制度改革の一環として昨年度から後期高齢者制度の施行、退職被保険者制度の廃止、特定健診、特定保健指導実施等々目まぐるしく変化しております。しかしながら、相互扶助の立場から本予算は事業の現状を踏まえ被保険者の健康を守り、安心して医療を受けられるよう計上されており、よって本案に賛成するものです。

後期高齢者事業
特別会計予算

【反対討論】

市川隆子議員

この予算は、広域連合で、町は保険料の徴収事務と直接住民の声を聞き、それを広域連合に伝えていくという仕事をしていきます。間もなく一年になります。スタート当初から不満や反対を表明する声も多く、ネーミングや医療抑制などの内容でも極めて評判の悪い制度としてスタートしました。この事業が始まって間もなく長寿医療制度と呼び名を変更しました。しかし、名前だけ変えても介護に続いて年金天引きには不安の声が多くあります。郡内の自治体を初め、全国では五百を超える地方議会が見直しや中止撤回を求める意見書を



議決しています。この制度は医療費抑制や保険料の値上げもあり高齢者にこれ以上の負担を負わせる制度は中止すべきことを求め反対討論といたします。

【賛成討論】

板倉正道議員

従来の老人保健制度は、老人医療費が増大する中現役世代と高齢者世代の負担の公平さが指摘されており。平成二十年から始まった後期高齢者医療制度は、この負担を明確にし、高齢者の医療を国民全体で支え国民皆保険制度を将来にわたって継続、持続可能なものにするための新しい制度であります。この制度の運営は千葉県後期高齢者医療広域連合が行っており。この特別会計は法律に基づいて町が行うべき業務に関連した予算であり、被保険者の健康を守り安心して医療が受けられるよう計上されており。よって本案に賛成するものです。

介護保険事業
特別会計予算

【反対討論】

市川隆子議員

私は三月六日に介護保険料引き上げの条例に反対しました。本予算は、この引き上げがもとになつていきます。高齢者は少ない収入で負担は増えていきます。負担が増えるのは一つには制度そのものに問題があります。高齢化が進んだり介護保険の利用者が増えれば値上げにつながるのです。もう一つは国庫負担の減少があります。五十%だった国庫負担割合は二十五%になり三位一体改革で二十二・八%まで引き下げられることです。誰でも安心して利用できる制度として国に国庫負担の復活を要求しつつ低所得者に対する減免措置を求め反対討論といたします。



【賛成討論】

北田頼光議員

介護保険制度は我が国の国民生活を支える社会保障制度として広く定着し本町でも多くの町民が制度を利用しながら地域においてその人らしい日常生活を営んでいるところ。あります。新たに策定した「ひまわり長寿プラン」は、今後三年間における地域の高齢者の生活を支えるための施設整備、超高齢社会における安心や希望を実現するための施策を盛り込んであり本町における高齢者の生活支援の根幹を担うものであります。その「ひまわり長寿プラン」のステップとなる本予算案は、六十五歳以上の人口が急増し介護を必要とする高齢者も増加してくると予測される地域社会にあつて介護予防に効果的な各種の事業展開を図りさらに介護保険の急激な増大を招かぬよう配慮されていると評価できますので賛成いたします。

農業委員決まる

農業委員の改選に伴い議会推薦に次の議員が推薦され決まりました。

今 関 勝 巳
酒 井 良 信

永年在職議員表彰

平成二十一年第一回、定例会において、永年在職議員に対する表彰状の伝達が行われました。この表彰は、全国町村議会議長会長より、永年にわたり地域

振興と、地方自治の進展に尽力された功績により表彰するものです。本町から、次の二名の議員が表彰されました。

自治功労者

(議員在職十五年以上)

鈴木 正 美
市 川 隆 子



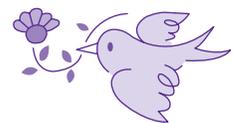
町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は6月の予定です。

詳しいことは、議会事務局へ。

TEL 33-2111 / FAX 33-4132

白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。



編集後記

アメリカのサブプライムローンに端を発し、百年に一度と言われる世界同時不況に陥りました。日本経済にも深刻な影響を与えております。麻生内閣では、景気回復を最優先課題として取り組んでいるところです。平成二十一年度一般会計総額は八十八兆五千四百八十億となり過去最大となつていきます。また昨年から話題となつていきます定額給付金が支給されるはこびとなり、景気回復の引き金となるのではようか町においても第一回定例会が三月六日から十二日までの会期で開かれ、昨日の当初予算総額は昨年より二・五%増の六十八億七千九百八十九万五千円となり第四次総合計画のもと遂行していきま。人口は平成十二年から六十五歳未満は減少し、六十五歳以上は着実に増加しています。町では、色々な対策を打つていて、まだ目には見えていません。行政と町民そして議会が一体の中で今後取り組んでいく必要があるのでは無いでしょうか。

今関 勝巳